

摂南大学での教育改革の取組み



栗山 仙之助
(摂南大学長)

一 はじめに

摂南大学は一九七五年四月に設立され、二〇〇五年四月で創立三〇周年を迎えます。

設立当初は工学部のみで単科大学でした。今日では五学部一学科、五研究科を擁する総合大学に発展しております。本学の教育の理念は、『建学の精神に則り、全人の育成を第一義として、人間力・実践力・統合力を養い、自らが課題を発見し、そして解決することができる知的専門職業人を育成する』こととしております。また、教育の方針を『対人能力の養成。キャリアデザインと就業意欲の向上。五学部がそれぞれの特色を活かし、文理にバランスの取れた教育。課外活動などによる幅広い知識・人脈・考え方を持つ人材の育成』としております。「学生を中心とした教育体制」「実践を重視した教育体制」「文理が相互にバランスのとれた教育体制」を教育改革の基本理念とし、大学教育で見直されなければならない人格形成に力を注いでいます。具体的には、少人数教育の推進、単位制度の適正な運用、教育方法の改善、社会のニーズに直結した教育や実践的教育の実施、公的資格取得

の推進、習熟度別授業の展開など、教育の理念・目標に沿った多くの教育改革を実施しています。このようにして多様な学生に対して入学から卒業まで一貫してきめ細かな教育を展開することによって、本学の教育目的の達成に努めています。

二 少人数ゼミナール教育により学生の人間力の向上を目指す

本学では開学以来、全学部で卒業研究を含むゼミを必修とし、教育の柱と位置づけてきました。さらに、二〇〇二年度新入生からは一年次ゼミを必修とし、学生に対する全人教育を推進するため、ゼミを四年間一貫して必修とするカリキュラム改革を行いました。これによって、これまで一部の学部を除き専門教育に入った段階で開始されていた少人数単位での行き届いた指導・教育が、導入教育においても可能となっています。一年次ゼミを履修した学生の間では、修学意欲、専門教育への対応能力、さらに円滑な人間関係を作りあげる能力が向上するという効果が得られます。

本取組みの特色は、①ゼミは一年次から四年次まですべて必修科目として開講されている点にあります。したがって、本学卒業生はすべてゼミを通じた全人教育を受けていることとなります。また、②原則としてそれぞれの学部にも所属する全教員が、それぞれ全学年のゼミを担当し、全学挙げての教育となっている点も特筆されます。さらに、③総合大学の利点を活かして行われている点にも特色があるといえます。

本取組みの成果として、従来は新入生の自発的な努力に委ねられていた「大学教育への対応」が、入学直後から丁寧な指導を受けるため、学生は大学に早く慣れ、学習習慣が定着するようになりました。その結果が端的に現れているのが、除籍・退学者数が年々減少していることでもあります。

以上のように四年間一貫したゼミ教育の効果は確実に現れており、今後ますます大きなものになることが予想されます。

三 教養特別講義で学生の全人的教育を目指す

本学では、実践的で、社会のニーズに即応した特色ある授業を数多く開講しています。その代表的なものとして「教養特別講義」があります。この科目は、学生にその時々のお話や、学生が興味を抱いている事項等について、教員と学生が学部の垣根を超えて、お互いに考え、研鑽する機会を提供する趣旨から開講しており、文部科学省をはじめ各界から高い評価を得ています。

本学は、教養教育の重要性を認識して、学生の全人的な成長を目指しています。専門科目から見える社会性、教養教育の中から浮かび上がる専門技能の重要性を合わせて学ぶことで、総合的な学習を目指しています。この授業科目として、年間二二テーマ程度を開講しています。

特に、二〇二〇年度から開講している「ベンチャービジネス」は、我が国の中小企業施策の総合的実施機関「中小企業総合事業団」の全面的支援を得ています。これは、全国の大学でも極めて珍しい授業科目で、毎日新聞等マスコミにも取り上げられました。授業は同事業団が設置した「中小企業・ベンチャー総合支援センター近畿」の常設アドバイザーの公認会計士、税理士、中小企業診断士、弁護士、経営コンサルタントやベンチャー企業の経営者らがリレー講義を行っています。

四 専門教育の充実とインターンシップによる実践能力の開発

本学の専門教育カリキュラムは時代の要請、学生の学習意欲を考慮して作られています。工学部のJABEE、薬学部の薬剤師国家試験などのように各学部・学科において育成する人材像を検討し、それに見合った教育カリキュラムを実現するために、改善や拡充に努めています。

さらに、実践的な人材育成を充実させるためにインターンシップを導入し、毎年、多くの学生が参加できる環

境を構築しています。インターンシップによって実際に企業や団体などで働く経験をした学生は、その後勉強意欲の向上や目的意識の明確化を果たしています。

本学では、大学での専門教育と社会での実践教育とをバランスよく融合させて、実践的かつ、総合的な人材育成を行っています。

五 難関各種資格における高い合格率

本学では、基本理念の一つである「実践を重視した教育体制」を強力に推進するため、学生の公的資格取得を積極的に支援し奨励しています。具体的には、二〇〇三年四月から全学的支援組織として「公的資格取得委員会」を発足させるとともに、各種資格試験受験のためのエクステンション講座の開講や公的資格取得の単位認定制度をスタートさせました。さらに、近年、特に学生のキャリア・アップやキャリア開発の必要性が一段と高まりを見せていることから、前述の委員会を二〇〇四年四月から「キャリアデザイン委員会」に発展させ、資格取得はもとより生涯を通じた職業観・就労観の必要性を促し、キャリア意識の醸成に努めています。

近年、公的資格受験者が急増し、司法試験最終試験をはじめ、薬剤師国家試験、技術士一次試験、情報処理技術者試験等の合格者が増えています。

六 トップクラスの就職状況

本学では、一年次から就職への意識を持って学生生活を送れるよう、学年ごとに系統だったガイダンスを行い、学生個々に応じたきめ細かい個人指導を実施しています。まず、一・二年次生対象のガイダンスでは、卒業後の進路を意識した「職業選択」や「社会が求める人材」について考えることを主眼としています。そして、三年次生には実際の就職活動に必要な情報を提供していきます。また、各ゼミ担当教員と就職部の職員が協力して学生

に対して繰り返し行う個人面談を通じて、学生が自分自身の適性・資質を見出し、希望の職種・業種に就けるよう適切な指導・助言を行っています。

各企業が学生に求める能力・資質のレベルは、年々高まりつつあります。しかし、このような状況のなか、本学には毎年、優良企業から多くの求人があり、就職希望者の就職率においても全国の大学平均をはるかに上回る九七・七％（〇三年度卒業生）の実績を残しています。このことは、社会で活躍する本学卒業生に対する信頼の証であり、本学に学ぶ学生への大きな期待の現れでもあります。

七 F D活動で教育力がさらに向上

本学では、学生への教育方法、教育環境、カリキュラムを年々向上させていくためにF D活動を重点的に行っています。F D活動は、大学の教育力を向上させる取組みです。

本学はF D活動を全教員、全職員の参加の下、大学を挙げて実行しています。前期、後期ごとに全教員全授業科目について学生による授業アンケートを実施しています。このアンケートは教員の工夫ややる気を引き出すだけでなく、学生の学ぶ姿勢の向上にもつながっています。また、昨年から全学部で公開授業を実施し、教員間での教育技術の向上と共有ならびに授業改善を図っています。さらに、定期的にF D関連のニュースレターを配信し、全教職員が教育力の向上を第一に考える土壌を作っています。

八 おわりに

以上、摂南大学における学生の視点を重視した教育改革への取組みを紹介しました。本学では、総合大学の利点を活かし、学生一人一人が豊かな人間力を伸ばしていける環境作りに専念しております。このようにして、本学の教育理念を実現し、さらなる成果を生み出して社会への貢献に努めます。